美術工芸館 Newsletter

東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館

Tohoku Fukushi University
Serizawa Keisuke Art and Craft Museum

ニュースレター　2023 年 11 月　Vol. 4

Report 01

「柳緑花紅（りゅうりょくかこう）」国見・東口両キャンパスで開催！

芹沢銈介の植物模様をテーマにした作品の展覧会が国見キャンパス、仙台駅東口キャンパスの 2 会場で行われました。

芹沢作品には、風景や風物、働く人、子どもたちの姿など多種多様な模様が染められています。今回は双方の会場の展示室内を動植物をモチーフにした作品で埋め尽くしました。

タイトルには「柳は緑　花は紅」という、あるがままの自然の理にこそ真の美しさがあるという禅語を用いています。帯地に細やかに染めた花々、大きなのれんに悠々とした線で描かれた柳模様など、両会場合わせて約 80 点を展示し、芹沢作品に備わる「生命力」と「美しさ」を紹介しました。

国見の美術工芸館では、学内のみの開放（5 月 8 日～ 7 月 28 日）として、展示見学、授業での利用、自習スペースとして教職員や多くの学生さん達が活用しました。また、東口キャンパスのギャラリーミニモリでは、一般公開で開催（5 月 30 日～ 6 月 19 日）。展覧会を待ちわびた方がワークショップの「しおり作り」、「うちわ作り（予約制）」とともに展示を楽しまれていました。

仙台駅東口キャンパス「柳緑花紅展」展示風景

Topics 01

“てくてく”美術工芸館　日記

2023年
4月29日（土・祝）

出張ワークショップ in 仙台縄文の森広場
本学学生が大活躍！

縄文の森広場で開催された総合型イベント「縄文乃春（じょうもんのはる）」に、学生と共に参加しました。「DOKI☆土器合羽刷り」と題し、土器モチーフの型紙を作成し染色体験を実施。指導役のミニモリサポーターズの学生2名とともに、たくさんの方と交流することが出来ました。

5月10日(水)～7月28日(金)
国見キャンパスで「柳緑花紅」展 開催

5月30日(月)～6月16日(金)
仙台駅東口キャンパスで「柳緑花紅」展 開催

前頁「Report 01」を Check！

7月26日（水）

近隣の市民センターにて
出張ワークショップ開催

仙台市貝ヶ森市民センター主催の「貝ヶ森シニア学園」で、第3回ものづくり講座の染色体験を担当しました。本格的な道具、選り抜きの材料を使ったうちわ作りに挑戦してもらい、それぞれが個性豊かな作品を完成させました。

7月7日(金)～7月28日(金)
七夕イベント実施

7月7日からの約1カ月、5F ロビーは七夕飾りでにぎやかな装いに。館内に5色の短冊を準備したところ、最終日の頃には竿いっぱいに短冊がかけられました。皆さんの願い事は叶いましたか。

7月31日（月）
アイヌ国立博物館資料調査
次頁「Report 02」を Check！

8月23日（水）
職場体験

仙台市立三条中の2年生が、本学でPR課に職場体験のため来校。それぞれの部署を取材するという形で美術工芸館へも訪れ、当館ではワークショップの準備や、印刷物の発送準備をしてもらいました。とても丁寧に一つ一つの作業に取り組んでくれました。

9月8日(木)～9月19日(火)
池田満寿夫作「般若心経」軸を展示
in 仙台駅東口キャンパス

河北書道展の開催期間（9/8～9/19）に合わせ展示しました。約5m四方の大きな軸です。学芸員が作品の状態を点検しながら、専門の業者が5人がかりで展示・撤収作業を行いました。

Topics 02

作品紹介　まねき猫文のれん

現在開催中の
展覧会で展示中！

まねき猫文のれん
木綿　型絵染

芹沢作品には意外に多くの生きものが登場します。鳥や蝶、魚はよく見かけますが、猫はかなりレアなモチーフです。しかも鯛を抱えた“めでたさ倍増“のまねき猫です。大きな目ときゅっと引き締まった口元が印象的で、なんだか澄まし顔。左手をあげるのは人招きのポーズで、千客万来・商売繁盛の願いが込められています。

まねき猫は江戸時代に全国へ広まった縁起物で、一説には曹洞宗・谿山豪徳寺（世田谷区）にルーツがあるそうです。彦根藩主・井伊直孝が門前を通りがかり、猫に招かれて寺に立ちよった時のこと。周囲を急な雷雨が襲いましたが、猫のおかげで、幸運にも落雷から身を守ることができたといいます。以後この猫は大切に祀られ、開運招福を願う人々の信仰を集めています。

Report 02

国立アイヌ民族博物館が調査のため来館

当館では 100 点を超えるアイヌ民族資料を所蔵しており、その多くは初代館長・芹沢長介氏（1919-2006 考古学者）による収集品です。この中には医学・美術史的にも貴重な《種痘施行図》があり、7 月 31 日には国立アイヌ民族博物館学芸員が本図の調査に訪れました。図に描かれているのは、1857（安政 4）年、江戸幕府がアイヌ民族に施した天然痘ワクチンの集団接種の様子で、絵師・平澤屏山による作品です。今回の調査は緻密な描写や使用されている顔料を丹念に確認しながら進められました。

2023 年 11 月 1 日発行　東北福祉大学 芹沢銈介美術工芸館　仙台市青葉区国見 1-8-1　TEL：022-717-3318
https://www.tfu.ac.jp/kogeikan/